

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 4 月 25 日

事業所名 はばたき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・構造化を職員全体で意識するように努めている。	・スペースのみならず、支援方法についてもワークシステムの導入を図りたい。
	2	職員の配置数は適切である	○		・人員配置基準を上回る配置をしている。	・重度の方が利用しやすい、職員配置の検討が必要。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・風除室の設置	・活動室内外の気温差を抑え、体調管理に努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・法人全体でPDCAサイクルの考え方を徹底している。	・法人事業連携会議、事業所会議にて周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・アンケート調査を実施し、保護者等の意識分析を行う。	・アンケート調査結果の分析より避難訓練の伝達、事業所便りの発行につながった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページをリニューアルし見やすくした。	・法人季刊誌により自己評価結果の周知を図りたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・法人全体、内部講師による研修会の実施に留まっている。	・権利擁護、虐待防止や視覚支援の研修を実施したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・内部研修を実施、外部研修へ参加している。	・研修会実施後の成果検証を実施したい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・週1回の個別活動分析を実施している。	・客観性のある質の高い計画の作成に努めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・法人内3事業所共通のアセスメントツールを利用している。	・法人内相談事業所が作成するサービス利用計画とリンクしているかの検証を行いたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・複数の活動プログラムの提供をしている。	・長期休暇中における活動プログラム立案のグルーピング化を行いたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・複数の活動プログラムの提供をしている。	・平日、休日共、3～4の活動プログラムを提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・事業外の公共施設を利用した活動プログラムの提供をしている。	・活動プログラムの種類を増やしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・計画に沿いながら個別活動と集団活動を提供している。	・計画のモニタリング機能の充実を図りたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・長期休暇以外の開所日は、毎日打ち合わせを実施している。	・長期休暇中の打ち合わせ方法の見直しを行いたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	・サービス提供の翌日に振り返りを行い共有している。	・振り返り内容の標準化を図りたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・記録を集約し月1回の内部会議で共有している。	・記録様式の見直しを図り、検証しやすい体制整備を図りたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月に1回モニタリングを実施している。	・モニタリング以外にも家庭と連携できる体制整備を行いたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・基本活動の中でも特に共生社会の実現を意識している。	・地域の方々と交流できるような活動プログラムの検討を増やしていきたい。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児発管が参画している。	・児発管以外の職員も参画できるようにしていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・毎月1回所属校に利用状況の連絡を行っている。	・簡潔であるが、送迎時にも担任教諭と引継ぎを行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		・看護師配置無	・対象児童無
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・相談支援事業所を介して情報共有に努めている。	・継続して相談支援事業所との連携を密に行きたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・個別支援会議に情報提供している。	・質の高い支援計画作成に努め、相談支援事業所と情報共有を密に行きたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	・必要に応じ連携していきたい。	・必要に応じて連携していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・以前は実施していたが、コロナ禍により実施できていない。	・交流できる社会情勢になったら、積極的に行いたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・児童部会の部会長を務めた。	・令和4年度は、児童部会構成事業所として参画する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や電話等を活用し共通理解を行っている。	・家庭訪問等を増やし、細かに共通理解を図りたい。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・実施していない。	・ペアレントトレーニング研修が必要である。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に行っている。	・虐待防止体制に係る説明が必要である。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・必要に応じ行っている。	・保護者が相談しやすい体制整備が必要である。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・法人内相談支援事業所と連携して開催している。	・お話しませんか(会)の充実を図りたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・契約時の重要事項説明書にて説明している。	・虐待防止体制に係る説明が必要である。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・年2回事業所だよりを発行している。	・事業所だよりの発行回数を増やしたい。又、InstagramやFacebookを活用して迅速な情報発信に努めたい。
	35	個人情報に十分注意している	○		・契約書に明文化し、職員にも周知している。	・継続実施。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・面談時や連絡帳記載時、保護者の意思を受容していく事を基本にしている。	・連絡帳記載内容、方法の見直しも行っていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・コロナ禍により事業所内行事に地域住民を招待しづらい。	・行事への招待は難しい社会情勢ではあるが、地域住民と協働の畑作業や果実収穫を行い、交流を図っている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・各種マニュアルを策定し職員への周知は行っている。	・保護者への周知が不十分なので事業所だよりを活用して周知したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・年2回実施している。	・避難経路確保計画を策定し、「消防訓練、水害地震時訓練、不審者対応訓練」等を継続して行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・県社協主催の外部研修に参加している。	・令和4年度から「権利擁護・虐待防止委員会」を設置し、内部研修を充実したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	・計画への記載ができていない。	・虐待防止運用規定の策定していき、計画にも記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・アレルギー調査を行っている。	・家族への調査に留まっており、必要に応じて相談支援事業所と連携し医師の支持を仰ぎたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	・事例集は作成していない。	・事業所内での共有方法について検討していきたい。